

ROTARY CLUB OF
NARA - WEST
DISTRICT WEEKLY BULLETIN
2650 No. 2357 2019. 3. 28

創立 1969年(昭和44年)12月13日
例会日 毎週木曜日 18:00より
事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地
例会場 奈良ロイヤルホテル内
TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2018~2019年度
国際ロータリーのテーマ

2018~2019年度
地区のスローガン



ロータリーを学び、実践し、発信しよう；
Enjoy Rotary

国際ロータリー会長
バリー・ラシン

RI第2650地区ガバナー
中川 基成

会長	追山 重法	副会長	安井 清悟	会場監督	東山光秀
幹事	猪上 正孝	会計	谷垣 嘉輝	理事	植野洋志
理事	笹本麻琴	理事	金田 宗寛	会報委員長	松山悦啓
理事	相澤万裕子	役員	有馬 康明		



3月
生まれ年えと生まれ日星座守り本
尊八体仏霊場

第31回 (2356回) 例会報告 2019. 3. 14
ソング

「週に一度」

来訪者紹介

中村 亜矢子様 奈良市消防団広報室指導分団分団長
石田 裕子様 奈良市消防団広報室指導分団班長
オードリー・ウェイーさん 米山奨学生

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通算 2356 回	46	6/10	24/36	12	71.4%
通算2354回修正	46	9/10	27/36	9	80.0%

今月は 水と衛生 月間です

第32回 (2357回) 例会プログラム平成31年3月28日(木)

1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「奈良西ロータリークラブの歌」
3. 来訪者紹介
4. 出席報告
5. 会長の時間・会長報告
6. ニコニコ報告
7. 委員会報告 幹事報告
8. 第2回家庭集会報告
9. 卓話：山川 喜平会員
「自己紹介」
10. 閉会宣言 点鐘

会長の時間 (追山会長)

皆様今晚は、奈良ではお水取りが終わると暖かくなるといわれていますが、だいぶ春めいてきたように思います。今年の桜の開花予想が出ましたが、奈良は3月23日頃との事です。私事ではありますが27日に娘と平成最後の靖国神社に参拝に行く予定です。靖国の桜を楽しみにしています。

さて、会員の皆様へ送付させていただいておりますが、細則を変更したいと考えております。次年度会長幹事の件では皆様にご心配をおかけしました、退会届が出て以来会長会にも相談をしまして今後二度とこのようなことが起こらないような対策が必要と感じています。つきましては、今回2つの細則変更をしたいと思っております。

1、会長会を正式に細則に入れたいと思っております。

2、会長エレクトが兼任していた副会長を単独の職務とする。

副会長は、現年度会長に不慮の事態が生じたときの対策として、副会長は会長経験者から選任したいと思います。以上ご理解いただけますでしょうか。

異議なしを頂きました、後日細則変更に着手いたします。本日の卓話は、奈良市消防団『広報指導分団』やまとなでしこ隊の皆様に来ていただきました、日頃の訓練、広報活動等をお話しいただきます。宜しくお願い致します。以上で会長の時間といたします、有難うございました。

幹事報告 (猪上幹事)

- ①例会変更情報は、表の座席表と共に掲示しております。また、ホームページの会員ページにも掲載しておりますのでご覧下さい。
- ②例会後、50周年部会長会を開催致します。部会長の皆様よろしくお願い致します。
- ③次週3/21は定款細則8-1にて休会となります。次回例会は、3/28となります。3/28例会にて家庭集会の報告をしていただきますので各リーダーよろしくお願い致します。報告発表の原稿は、データにて事務局にお渡しいただきます様お願い致します。
- ④3/28例会後、50周年記念実行委員会を開催致します。メンバーの皆様よろしくお願い致します。
- ⑤希望の風奨学金支援のお礼状が地区より届いております。
- ⑥本日、4/11早朝例会と例会後の内輪会の出欠表を回覧しております。



米山奨学生終了証書授与



米山奨学生 オードリー・ウェイイーさん

ニコニコ報告

追山重法会長

本日の卓話、奈良市消防団広報指導分団様お話をのしみにしています。東山会員ありがとうございました。ニコニコ

大濱正徳会員

桃の節句も過ぎ、寒さもやっとゆるんできた様です。今日の卓話の中村さん、石田さん楽しみにしています。

猪上正孝会員、三木武彦会員、佃尚彦会員、東山光秀会員、榎木晋作会員、植田良壽会員、野阪幸男会員、小松玲子会員、寺田信弘会員、木村知弘会員

本日の卓話、楽しみにしております。

植野教夫会員

長い間、勝手いたしました。申し訳ございません。ひとりゆっくり楽しんできました。来年の予定も決まりました。来年もまた勝手いたします。

浅野晋良会員

4月～奈良をはなれることになりました。3年間大変お世話になりました。ひきつづき公私共々ご交誼の程よろしくお願い致します。

会員夫人の誕生祝

大濱 正徳会員夫人	寿子様	3月3日
川野 隆祐会員夫人	長子様	3月16日
津山 初雄会員夫人	加代子様	3月29日

皆様 おめでとうございます



「私達にできること広報指導分団やまとなでしこ隊」

奈良市消防団広報室指導分団分団長
班長

中村 亜矢子様
石田 裕子様

本日は貴重なお時間を頂き、誠にありがとうございます。私たちは、奈良市消防団広報指導分団の分団長、中村と班長の石田です。どうぞ宜しくお願い致します。今から「私達にできること」と題して日ごろの活動内容をご紹介させていただきます。それでは早速、本題に入らせて頂きます。

奈良市消防団は、団長以下4つの方面隊の隊長・副隊長を中核とした団本部と、22の分団で組織されています。団員定数は男性960名、女性40名、計1,000名、私達、広報指導分団は本部付けで、現在34名。4方面隊管轄区域図です。本部付の当分団は、奈良市内全域で活動しています。職種は看護師・歯科衛生士・会社員・保育士・公務員・団体職員・介護士、パートタイマー・アルバイト・専業主婦(奈良ロイヤルホテル勤務5名・アンジェロ勤務4名)と普段はいろいろな職業を持ちながら活動しています。当分団は発足して10年となりますが、まずは立ち上がったからの9年間の歩みを紹介させていただきます。奈良市広報指導分団は平成21年4月、39名の女性消防団員で発足しました。発足からしばらくは3つのグループに分かれて活動していましたが、現在はグループの枠はありません。発足から1年4カ月目で「全国女性団員活性化 奈良大会」が奈良市で開催されました。これはオープニングセレモニーでの、カラーガード演技の写真です。元警察官でガード経験がある団員、全く経験なく入団した団員の全国デビューです。消防音楽隊の演奏とのコラボです。平成24年「第18回 全国女性消防団員活性化 秋田大会」では、私たちが発案した体操しながら救命救助活動を覚える「やまとなでしこ体操」を披露させていただきました。こちらが7つの動作から出来たやまとなでしこ体操の流れになっています。平成25年には横浜



での「第21回全国女性消防操法大会」のアトラクションにご招待頂きました。「なでしこ体操」に続き「ちびっ子防災体操」を作り、全国の女性消防団員の皆様と体操をさせていただきました。東京国際フォーラムで開催されました「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」にも、ご招待いただきました。奈良市長にも同行頂き座頭市のテーマソングに乗せて「なでしこ体操LIVEバージョン」を披露しました。平成27年秋、全国女性消防団員活性化 佐賀大会で、わたくし石田がPFA(サイコロジカルファーストエイド)の略で災害時のこころのケアの研修を受講した体験発表をしました。平成24年ごろからは県外に出向いての活動をさせていただきました。男性団員による小型ポンプ操法訓練の様子です。奈良県大会を勝ち抜いて全国大会へと進んでいきます。そして「ポンプ操法訓練始め式」の司会は、その地域に住む女性団員が担っています。訓練期間中には、何度か激励に伺います。こちらは平成29年に出場された平城分団の写真です。奈良市では6年前から「奈良市消防団活性化大会」を開催しています。第1回・2回はホールを借りて「奈良市消防団の活動紹介」をメインに第3回・4回・5回は「奈良市消防団・PMAT・DPAT合同訓練」を兼ね多方面の機関と災害を想定した訓練を行い、市民にも参加願いました。第3回は、奈良ロイヤルホテルを全館借りて、震度7の地震を想定しての訓練。この後、訓練見学をしていた奈良ロイヤルホテルのスタッフが数名当分団に入団しました。第4回は、近鉄様のご協力を頂き「列車事故」を想定し、実際に電車を止めての訓練を行いました。第5回は、小学校で大災害を想定しての訓練。体育館を避難所にし訓練している写真です。いずれも私達はPFA(こころのケア)訓練に従事しました。消防団員募集ポスターの制作も、担当しています。ポスター掲示とともに、市の広報誌にも毎年「団員募集」を掲載しています。また広報誌を年に1回ペースで発刊し、広報指導分団員が、取材・制作を担っています。今年度の広報誌「なでしこ新聞」を配布させていただきましたので、皆様のご意見を頂戴できれば幸いです。奈良市の広報誌に消防団の記事が掲載されました。市のコミュニティーFMでも男性団員とともに、消防団のPRで出演しました。ここからは今年度の活動をご紹介します。昨年4月1日から本日までの出動・また出動のための練習の件数です。3月8日現在163件です。辞令交付式の司会進行は、当分団が担っています。新入団員は、3日間の応急手当指導員講習を受講します。分団員全員が「指導員資格を取得する」を義務付けています。幼稚園・保育園や小学校に防災広報に出動しています。高校の運動部員を対象にも「救命講習」を実施しています。「なでしこ体操」の一連の流れのイラストをバックプリントしたTシャツで出動している写真です。



「なでしこ体操」に続き「ちびっ子防災体操」を作り、全国の女性消防団員の皆様と体操をさせていただきました。東京国際フォーラムで開催されました「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」にも、ご招待いただきました。奈良市長にも同行頂き座頭市のテーマソングに乗せて「なでしこ体操LIVEバージョン」を披露しました。平成27年秋、全国女性消防団員活性化 佐賀大会で、わたくし石田がPFA(サイコロジカルファーストエイド)の略で災害時のこころのケアの研修を受講した体験発表をしました。平成24年ごろからは県外に出向いての活動をさせていただきました。男性団員による小型ポンプ操法訓練の様子です。奈良県大会を勝ち抜いて全国大会へと進んでいきます。そして「ポンプ操法訓練始め式」の司会は、その地域に住む女性団員が担っています。訓練期間中には、何度か激励に伺います。こちらは平成29年に出場された平城分団の写真です。奈良市では6年前から「奈良市消防団活性化大会」を開催しています。第1回・2回はホールを借りて「奈良市消防団の活動紹介」をメインに第3回・4回・5回は「奈良市消防団・PMAT・DPAT合同訓練」を兼ね多方面の機関と災害を想定した訓練を行い、市民にも参加願いました。第3回は、奈良ロイヤルホテルを全館借りて、震度7の地震を想定しての訓練。この後、訓練見学をしていた奈良ロイヤルホテルのスタッフが数名当分団に入団しました。第4回は、近鉄様のご協力を頂き「列車事故」を想定し、実際に電車を止めての訓練を行いました。第5回は、小学校で大災害を想定しての訓練。体育館を避難所にし訓練している写真です。いずれも私達はPFA(こころのケア)訓練に従事しました。消防団員募集ポスターの制作も、担当しています。ポスター掲示とともに、市の広報誌にも毎年「団員募集」を掲載しています。また広報誌を年に1回ペースで発刊し、広報指導分団員が、取材・制作を担っています。今年度の広報誌「なでしこ新聞」を配布させていただきましたので、皆様のご意見を頂戴できれば幸いです。奈良市の広報誌に消防団の記事が掲載されました。市のコミュニティーFMでも男性団員とともに、消防団のPRで出演しました。ここからは今年度の活動をご紹介します。昨年4月1日から本日までの出動・また出動のための練習の件数です。3月8日現在163件です。辞令交付式の司会進行は、当分団が担っています。新入団員は、3日間の応急手当指導員講習を受講します。分団員全員が「指導員資格を取得する」を義務付けています。幼稚園・保育園や小学校に防災広報に出動しています。高校の運動部員を対象にも「救命講習」を実施しています。「なでしこ体操」の一連の流れのイラストをバックプリントしたTシャツで出動している写真です。



卓話(続き)

依頼のあった企業にも出向き「応急手当や救命講習」を行っています。写真は第4回の合同訓練でお世話になった「近鉄」様の新入社員対象の講習の様子です。消防職員で編成されている消防音楽隊と共に「小学校訪問演奏会」に出動しています。6年間で奈良市内の全公立小学校を訪問するので児童は在学中、1度はこの「訪問演奏会」を体験します。音楽にのせてガード演技だけでなく、職員と知恵を出し合い防火・防災広報に力を入れています。ちびっ子防災体操を通じて「命の守り方」を子どもたちと一緒に学んでいます。毎年担当の都道府県で開催される「全国女性消防団員活性化大会」に昨年は滋賀県へ5名で参加し大会当日は、展示ブースで活動紹介をしました。平成26年度、初めてDMAT(災害派遣医療チーム)の先生による「PFA(災害時のこころのケア)研修」を受講しました。そこから毎年「PFA研修」を開催していますが、まだまだ学ぶことが多いと痛感しています。年始に開催される「消防出初式」には全団員が参集します。当日はカラーガード隊を先頭に、分列行進。式典の司会進行は広報指導分団員が務めます。また「災害に強い奈良を目指して！」を呼びかけ屋外テントには「救命体験ブース」を設け、訓練用の人形やAEDを用いて市民のみなさんに救命指導も行っています。現在は1月の第4土曜日。神事と打ち上げ花火の後、日頃は消火活動に従事する消防団員が、一斉に山に火を放ちます。奈良市消防団ならではの歴史あるメイン行事です。もちろん広報指導分団も出動します。小学生対象の防災教育にも出向いています。「119番通報の仕方」や「地震、火事、雷」をテーマに、人気キャラクターに扮し寸劇にクイズを盛り込んで指導します。昨年度は、ドラえもん、今年度はちびまるこちゃんで行いました。高学年 5・6年生になると「助けられる人から助けるひとへ」と応急手当、救命へと進めて行きます。5年生の授業は、もうお遊び感覚ではなく実際に「子供用のあっぱ君」を使用して心肺蘇生を体感してもらいます。そして6年生からは、成人が受講する講習と全く同じ内容で「応急手当・救命」を学びます。ここからの講師は消防職員の救命士です。消防団員は実技のサポートで出動します。中学生対象の授業の様子です。中学生の授業では、地元の男性団員にも出動願っています。やはり男性団員がいると、授業もピツンッと締まります。授業の最後には全員で「やまとなでこ体操」を行います。消防団員の授業での指導は、消防団の存在を知ってもらう事と共に、有事に備えて「顔の見える関係づくり」にも役立つのでは？と考えています。そして授業を受けた生徒のほんの一握りでも、自らの意志で消防団に入ってくれればと願い「未来の団員確保の場」としても活用しています。地域の防災イベントにも参加し防災広報を行っています。昨年、高の原イオンにて開催されました市民メディカルラリーにも出場しました。その際、男性団員と共に展示ブースを設け活動紹介を行いました。そして最後になりましたが、本年11月13日、横浜で開催の「第24回 全国女性消防操法大会」に奈良県代表として出場します。私たちは消火活動は行っておりませんので、ホースを持つのも初めてです。昨年の10月ごろから大会に向けた訓練を開始しています。団員一丸となって取り組み、今後の消防団活動に活かせるよう頑張りますので応援宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。



第33回 (通算2358回)例会予告
例会日 平成31年4月4日(木)

第12回理事会

卓話：植野 洋志会員
「ビタミンの歴史とビタミン・バイオフィクター協会の役割」

(担当：松山、オフォス)